

長野市政 3期目スタート



前回無投票で8年ぶりとなる別府市長選挙。再選した長野恭紘市長の市政運営3期目がスタートしました。

問 秘書広報課 電話(21)1123

4月25日、選挙後初登庁した長野市長は、当選証書付与式終了後、執務室前の廊下でたくさん市の職員が拍手で迎える中「ありがとうございます！ありがとうございます！また頑張ります！」と感謝の気持ちを述べ、笑顔で花束を受け取りました。

長野市長は、今後の中長期的な取組として「こどもまんなか社会の実現、新湯治・ウエルネスツーリズムの推進、温泉マネジメントシステムの構築」を掲げています。

また、来年は市制100周年を迎える節目の年となります。

長野市長の3期目への意気込みを、市長メッセージ『創』特別版としてお届けします。

長野 恭紘 (ながの やすひろ)

生年月日… 昭和50年4月16日生まれ(48歳)

略歴… 衆議院議員秘書を経て、

平成15年4月 別府市議会議員初当選

平成19年4月 別府市議会議員再選

平成27年4月 別府市長初当選

平成31年4月 別府市長再選(2期目)

令和5年4月 別府市長3選(3期目)

趣味… 小学校から大学まで続けてきた野球

好きな食べ物… 別府の地獄蒸しプリン



職員から花束を受け取り笑顔を見せる長野市長。その後すぐに公務に就く。

創

—第85回—

希望の未来へ

この度の市長選挙において、

多くの市民の皆様の負託をいただき、3期目の市政運営を担うことになりました。マスコミの皆様から、「当選直後からずっと表情が硬い、笑わないですね」と言われますが、それはこれから成すべきことに既に想いを寄せているからだとして自己分析しています（笑）。改めて身の引き締まる思いです。

まずは市民の皆様、この8年間の市政へのご協力に改めて感謝申し上げます。

またこの選挙期間中にも多くの市民の皆様から励ましや今後への期待のお言葉をいただきました。4年前は無投票当選でしたので、8年ぶりにお会いする

方もいらっしやいました。

今回、たくさんの皆様とお会いし、やはり市政の原点は市民の皆様との生活の場であり、顔と顔を突き合わせた一対一の対話であると確信しました。人と会って対話することは、『お心をいただく』『お気持ちをいただく』ことだと実感しました。

ある地区を走っていた時、散歩中の女性2人から、「あなたは本当に地域のことがわかってるの?」とご指摘をいただきました。課題や問題として認識していても、その苦しみや困難の深さは人や地域によってそれぞれで、そこに寄り添い、地域課題の解決に繋げることが本当に大切だと再認識しました。

皆様にお会いすることで、私

自身の想いの純度も上がりました。まだまだ成すべきことがある。心の底から、市民の皆様が幸せを実感できる別府づくりの仕事を続けたいと思えました。物価高騰対策やきめ細やかな生活支援は喫緊の課題です。補正予算を組み、すぐに取り組みます。

また、ポストコロナの別府の姿を市民の皆様が不安のないよう具体的に示していかなければなりません。

中長期的な視点では、こどもまんなか社会の実現、観光をより進化させる新湯治・ウェルネスツーリズムの推進、温泉枯渇をさせない温泉管理システムの構築は特に必要性を訴えてきました。大多数のご支持をいただきましたことで、自信を持ってどんなことがあろうと前に進めていきます。

来年は市制施行100周年の節目

の年です。100年前に生きた先人は、今の私たちの幸せを考えながらこの素晴らしい別府を遺してくれたはずです。私たちがただ見ぬ未来の別府の人々のため、誇れる仕事をしたいかなければなりません。

コロナを克服し、光輝く希望の別府はもうすぐそこまで来ています。より一層、謙虚に、慢心せず、現場の意見を徹底的に大事にし、市民に寄り添う市政を継続していくことを改めて決意して3期目スタートのご挨拶といたします。これからもよろしくお願い申し上げます。
(5月1日執筆)



市長メッセージ 『創』

市長自ら執筆する、市長メッセージ『創』は、市報に毎月掲載しています。

こちらからご覧
になります▶

